

「従」ではなく「主」として生きる

本宮ひろ志『サラリーマン金太郎』

「サラリーマン金太郎」作者の本宮ひろ志は本市ゆかりの漫画家なを「存じだろうか。本宮は1972年から市川に暮らし、JR市川駅近くの本宮プロスタジオで数多くの作品を生み出した。

「サラリーマン金太郎」は、バブル崩壊後の1994年から「週刊ヤングジャンプ」(集英社)で連載を開始。終身雇用や年功序列に守られないグローバル資本主義時代の到来に戸惑う昭和サラリーマンたちを主人公・矢島金太郎が意識改革していく物語である。金太郎にとって、会社は「恋人」である一方で、従うものではない。あくまで自分が「主」となり自分の看板で組織を渡り歩いていくのだ。



自分の魂を支配できるのは自分だけだ。 たかが会社か、いかに俺を牛耳るつもりかア!

なめられやんたら! あんたら!!

●「サラリーマン金太郎」©本宮ひろ志/集英社

「スローライフ」の先駆け

やまさき十三・北見けんいち『釣りバカ日誌』

安定成長期の1979年に『ビッグコミックオリジナル』(小学館)への連載が始まり、今なお連載が続く『釣りバカ日誌』は、映画化の他近年ドラマ化もされた国民的漫画だ。釣りのイメージが強いこの作品は、実は「安定」と「自由」を同時に手に入れたサラリーマン像を提示している。主人公・浜崎伝助は、家族的な会社の中で出世願望を持たず、趣味のコミュニティを獲得して充実した人生を過ごす。彼の生き方は、時代が一周回った今、「スローライフ」という成熟した生き方のひとつとなった。



●「釣りバカ日誌」©やまさき十三・北見けんいち/小学館

「窓際」が本当の勝ち組!?

サレンダー橋本『恥をかくのが死ぬほど怖いんだ。』

「恥をかくのが死ぬほど怖いんだ。」小学館、2015年収録の「新社会人」窓際を指すという短編は、サラリーマン漫画に新風を吹かせる作品だ。主人公は「働きたくない、でもお金は欲しい」という熱い思いを胸に、「本当の勝者は窓際だ」と窓際部署への配属を本気で目指し、解雇されないギリギリのラインでライバルとの熾烈な左遷レースを繰り返す。彼にとって、恥の感覚を捨て、意識を低く保ちさえすれば、窓際は最小限の労力で金を稼ぐことができる、極めて合理的で筋の通った生き方なのだ。



いつか辿り着いてあんなに低みに! 窓際の椅子は誰にも譲らねえ!

●「恥をかくのが死ぬほど怖いんだ。」©サレンダー橋本/小学館

●「明日クビになりそう」©サレンダー橋本/秋田書店

会場では全14作品の原画など約100点を展示! 文学ミュージアムで待ってるぜ!

多様化する仕事観

安野モヨコ『働きマン』

バブル崩壊後に日本経済が長期的に低迷するなか、2004年から「モーニング」(講談社)で連載が開始された『働きマン』には、いろいろなサラリーマンが登場する。彼らにはそれぞれの働き方や言い分があり、作品内ではそれらに優勢はつけられず、ありのままの姿で描かれる。仕事観が多様化し、普遍的なサラリーマンの理想像がわからなくなってしまう時代だからこそ生み出された表現スタイルなのだろう。



●「働きマン」©安野モヨコ/コルグ

サラリーマン 漫画展

漫画に学ぶ働き方

2018 7/21~9/24

少し先だけと内容をちょっとだけ見せるぜ!

文学ミュージアム企画展

7月21日(土)から文学ミュージアムで開催する「サラリーマン漫画展—漫画に学ぶ働き方」。サラリーマンを描いた数々の漫画作品の原画を、戦後の日本経済と照らし合わせながら紹介します。「働き方改革」が叫ばれる今、漫画の中のサラリーマンの多様な働き方・生き方から、あなたは何を感じますか。

☎320-3334文学ミュージアム

企画展概要

サラリーマン漫画展

—漫画に学ぶ働き方—

7月21日(土)~9月24日(休)

※休館日 7月23日(月)、30日(日)、31日(火)、8月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)、9月3日(日)、10日(日)、18日(日)

場 文学ミュージアム

料 一般500円(400円)、65歳以上400円、高校生・大学生250円(200円)、中学生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1人無料(一)は25人以上の団体料金

入 当日先着100人(要観覧券)

関連イベント

真実郎×サレンダー橋本 による対談

本企画展監修者の真実郎と新鋭漫画家の橋本氏。一足のおしゃべりを履く現役サラリーマン2人による対談会。

日 9月22日(日)午後2時~午後1時開場 3時30分

場 ステアパーク市川第2研修室

料 真実郎氏(サラリーマン漫画の戦後史)著者、本企画展監修者、サレンダー橋本氏(漫画家) 恥をかくのが死ぬほど怖いんだ。ほか

入 当日先着100人(要観覧券)

ワークショップ

漫画家アシスタント体験

ベタ塗りやスクリーン印刷など、漫画アシスタントの仕事体験するワークショップ。

日 7月28日(土)①午前10時~午後0時30分 ②午後1時30分~4時

場 ステアパーク市川第2研修室

料 本宮ひろ志プロダクションのアシスタント 申込順各回30人

料 500円(当日の展覧会の観覧料が無料になります)

申 320-3334文学ミュージアム

上田遙氏 新作サラリーマンダンス 公演、ワークショップ

振付師の上田遙氏によるサラリーマンの日常を描いた新作ダンスの公演及び、ワークショップ。ワークショップでは、サラリーマンの日常の動作をもとに、その場でダンス作品を完成させます。

日 8月25日(土)午後2時~2時30分IIダンス公演 午後2時30分~3時30分IIワークショップ 正午から整理券配布 午後1時30分開場

場 ステアパーク市川グリーンスタジオ

入 当日先着200人(要観覧券)

マンガのせりふを 考えよう

本宮ひろ志「サラリーマン金太郎」の吹き出し部分に来館者がせりふを書いたものを会場に貼り出す。来館者参加型イベント。

日 会期中常時開催

場 文学ミュージアム

クイズラリー

参加者には抽選で作家のサイン本やグッズ等が当たります。

日 会期中常時開催

場 文学ミュージアム

文学ミュージアム 担当学芸員による ギャラリートーク

日 8月5日(日)、18日(土)、9月15日(土) 24日(休)いずれも午後2時から要観覧券

場 文学ミュージアム

●これまでの「広報いちかわ」が公式Webサイト・検索「広報」(http://www.city.ichikawa.lg.jp/pla04/1111000009.html)でご覧になれます。